



総合資料館だより

2008.7.1 No.156



『大文字の夜の木屋町』

「両堤の紅楼紗燈を列ね河水に映じて炎耀射るが如し遠く大字の火炎は市家を賑ふす舞妓盆中に火文を移し客は盃を挙げて涼台に酔ふ」



『加茂川の夕立』

「風は紅燈を掀け雨は錦袖に灑ぐ霹靂般々遠く又近く電光閃々空中に掣き眼を眩ず漁夫は雨に撲たれ魚は川中に躍る」

▲「新選京都名所 三木翠山氏創作版画」より

京の夏

京都の町に祇園囃子が流れるようになるといよいよ夏本番。「鴨川の床」は、現在でも二条から五条に至る鴨川西側の支流みそそぎ川に高床を設け、涼を求める人々で賑わいますが、この床の歴史は慶長年間にさかのぼり、祇園会の神事とも関連するといわれています。

先祖のお精霊さんを迎えるお盆の行事は、8月16日の五山の送り火とともに終わりますが、東山如意ヶ嶽の「大」の火影を盆に映して飲み干すと中風にかからないという言い伝えがあります。

上の絵は、京都の風景風俗を後世に伝える版画集の中の、夏の代表的な情景に舞妓を配した作品です。作者三木翠山(1887-1957)は、文展・帝展で活躍した竹内栖鳳門下の日本画家です。

目次	京の夏……………	1	文献課の窓から「平野保三郎の『京都新名勝誌』と『花洛探勝誌』」…	2
	歴史資料課の窓から「山城の触の回達ルート 方内、郡切」…	4	特別展「京都歴史こぼれ話」…	5
	最近の収集資料から……………	6	古文書解説講座のご案内……………	7
	展覧会のご案内、友の会事務局から 他……………	8		

平野保三郎の『京都新名勝誌』と『花洛探勝誌』

最近古書店から入手した明治中期の京都の名所案内記である『京都新名勝誌』と、その草稿本『花洛探勝誌』についてご紹介します。

『京都新名勝誌』は、平野保三郎という人が編集発行したもので、現在、当館と国立国会図書館以外には所蔵が確認できない希少本です。明治28(1895)年に出版されたものですが、明治28年といえば、平安京に都が遷ってから千百年になることを記念して、京都で平安遷都千百年記念祭や、第4回内国勸業博覧会が開催された記念の年にあたります。著者の前書きによると、この数年前から本書の編纂を始めていたらしく、当初は、京都市及びその近郊から山城地方の名所旧蹟、歴史、故事、風俗、言語、美術等を網羅した8巻立ての壮大な地誌を編纂する計画であったようです。しかし、この記念すべき年に当たり、書店からの求めもあり、急遽その一部を抜粋して出版することになったことが記されています。

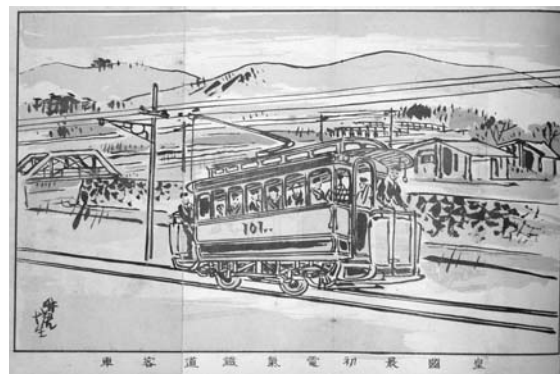
大きさは、文庫本よりやや小さい、縦14cmのポケット版で、携行に便利なサイズです。

内容は、最初に、第4回内国勸業博覧会の会場、次に、遷都千百年を記念して造営された平安神宮について記しています。そして銀閣寺、南禅寺等、京都の名所が続きます。各項目は、図版とその裏に解説文を記すというスタイルで、図版には、写真原板を精緻に複写した砂目石版の版画が使用されています。ただし、巻頭の内国博の会場図と、最後の電気鉄道の図版については、この



本の販売所であった内山改進黨の主人(号は竹塘)が描いています。

電気鉄道とは、丁度この明治28年に運行を開始した京都の市街電車、いわゆるチンチン電車のことで、4月には内国博会場への乗客を運ぶために、木屋町線(七条ステーション～蹴上)が開通しました。内国博と電気鉄道は、いずれも京都の名勝ではありませんが、明治28年のトピックとして、それぞれ項目を立てています。



古書目録でこの『京都新名勝誌』を見つけた時に、最初に気になったのが著者の平野保三郎という名前でした。当館では、平野保三郎が編纂した『花洛探勝誌』という資料を所蔵していますが、これは手書きの資料で、総合資料館以外には所蔵が確認されていない資料です。平野の著作はこれ以外は所蔵しておらず、出版物として刊行された著作があったということ自体が新たな発見でした。そしてまた『花洛探勝誌』の題箋の下には、『京都新名勝誌』という題名が記されていて、『花洛探勝誌』は、当初『京都新名勝誌』という書名であったことが推察されます。もしや、この『花洛探勝誌』が、『京都新名勝誌』の草稿本ではないかということで、早速古書店に申し込み、運良く入手することが出来ました。

さて、実際に両者を見比べてみますと、やは

り『京都新名勝誌』は、『花洛探勝誌』の各項目を抜粋して編纂されたものらしく、解説の文章は、ほとんど同じです。ただし、『京都新名勝誌』は、ポケット版ですので、ごく一部の抜粋であることがわかりました。続編が出版されたかどうかは不明ですが、今のところ所在が確認できず、残念ながら、おそらくこれ一冊で終わった可能性が大きいと思われます。



『花洛探勝誌』は、全6冊の和綴じの冊子で、各冊には「山城国総論」、「卷之一 東山北部」、「卷之二 東山南部」、「卷之三 北山」、「卷之四 西山」、「卷之五 城南部」の巻書名が付されています。巻次が記されていない「山城国総論」の内容は、「卷之一 東山北部」とほとんど重複しており、「山城国総論」を執筆した後、全巻の構成を考えて「東山北部」から執筆し直したことが推察されます。その際、内国博や遷都記念殿（平安神宮）の項目を抹消しており、編纂の途中で、時事的な項目について取捨選択した跡がうかがえます。また、全5巻ということは、当初は8巻立ての計画であったようですので、未完成に終わったものでしょうか。書名については、貼り紙をして『京都新名勝誌』から『花洛探勝誌』に変更しています。刊行物の『京都新名勝誌』と草稿本を区別するためか、あるいは出版から時間が経つと、「新名勝誌」というのがふさわしくないと考えたのか、はっきりした理由は不明です。

ところで、このような壮大な名勝誌の編纂を思いついた平野保三郎とはどのような人物だったのでしょうか？『花洛探勝誌』には、便箋やメモ書き等が挟まれており、表紙にはお茶の値

段表の裏紙が使われています。これらの情報から、平野は、五条橋袋町（現在の京都市東山区）の宣東園という茶商であったということが判明しました。平野は、『花洛探勝誌』で、宣東処士というペンネームを使っていますが、これは店の屋号に因む名前のようです。また、挟まれていた書類の中には、京都の名士で結成された歴史研究、史蹟顕彰団体である京都史蹟会の講習会の時間割表もあり、調査の結果、同会の会員であったこともわかりました。このことから、平野が、京都の歴史や史蹟に造詣が深い人物であったことが推察されます。

最後に、『花洛探勝誌』には、他にも特筆すべき特徴があります。

それは、京都の呉服商で、蔵書家、古地図、看板等のコレクターとして知られる、杉浦三郎兵衛（号は丘園）の蔵書印が押印されていることです。このことから、この『花洛探勝誌』は、著者の平野の手を離れた後、一時、杉浦三郎兵衛が所持していたものと考えられます。杉浦も京都史蹟会の会員であったようですが、二人の交友関係についてはよくわかりませんので、杉浦がこの資料をどのようにして入手したのかは不明です。後年、杉浦の旧蔵資料は、その大部分が市中に流出していますので、本書も同様の運命を辿ったものと思われる。

以上、『京都新名勝誌』とその草稿本『花洛探勝誌』についてご紹介しました。興味を持たれた方は、ぜひ当館の図書閲覧室で、現物をご覧下さい。

『花洛探勝誌』については、『資料館紀要 第32号』所収の拙稿、「小西大東 その四 一笹屋伊織との交流について、及び第二の大東発掘一」に詳しく紹介しています。

また、『京都新名勝誌』は、国立国会図書館ホームページの近代デジタルライブラリーという電子図書館でご覧いただくことができますので、参考までに紹介します。

（文献課 松田万智子）

山城の触の回達ルート 方内、郡切

京都府から府民の皆様へのお知らせは、「京都府公報」や「きょうと府民だより」等で行っていますが、江戸時代、行政のお知らせは、どのように行なわれていたのでしょうか。

それは、「触」によっていました。触とは、為政者の幕府、藩などが定めた法令・規制を公布すること、またはそれらが記された書付をいいます。町や村の役人に書付の写が回達され、人々に知らされます。回達されてきた触は帳面に写されますが、その帳面は「御触留」「御触書留帳」等（以下、触留）と言われていました。

江戸時代の山城国では、約2,100の町、約500の村などに触が回達されていました。今回は村々における幕府、京都町奉行所の触の回達ルートを御紹介します。主なルートには、「方内」「郡切」がありました。

方内とは、京都の四条室町の辻を基点にして、東西（四条通）、南北（室町通）の線を山城の国境まで延長し、四分割（四方内）した地域をいいます。方内ルートとは、所司代、後に京都町奉行所に詰め、行政の末端を担っていた4人



▲写真①

の雑色がこの4方内を各々担当して、村々に触を回達するルートです。東北は荻野、東南は松尾、西北は五十嵐、西南は松村が担当でした。

写真①は、方内は西北となる愛宕郡西加茂村（京都市北区）の万延2（1861）年の触留

で、約1年間分48の触が写されています。その中の1つ写真②は、方内ルートによって回達された京都町奉行所からの触です。加茂川での素人漁は2～8月中は禁止することを知らせていますが、最後には方内を担当する雑色「五十嵐中輔」の署名があります。

山城を東西南北に分割するこのルートは全国的に珍しいようですが、多くの触がこのルートによって回達されました。

郡切（郡限とも）とは、郡単位という意味で、郡切ルートとは、愛宕郡・葛野郡・宇治郡・乙訓郡・紀伊郡・久世郡・綴喜郡・相楽郡の8つの郡単位に触を回達するルートです。

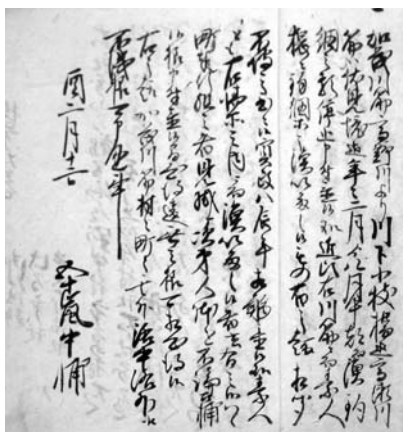
写真③の触も、写真①の中の1つですが、このルートで回達された触です。

前部分は東西の京都町奉行の印がある添書です。「別紙御書付壺通從江戸到来」とあり、江戸（幕府）からの触を町奉行所が中継していることがわかります。また、「郡切」で、村次ぎに回達するよう指示されています。中部分が先の「別紙」にあたり、この触の本文です。徳川家茂の將軍就任にともなって実施される大名や寺社の朱印改を担当する大名の交代を知らせています。後部分は雑色の添書です。郡切ルートのため、愛宕郡を含んでいる3方内の雑色（五十嵐・荻野・松尾）が連署しています。

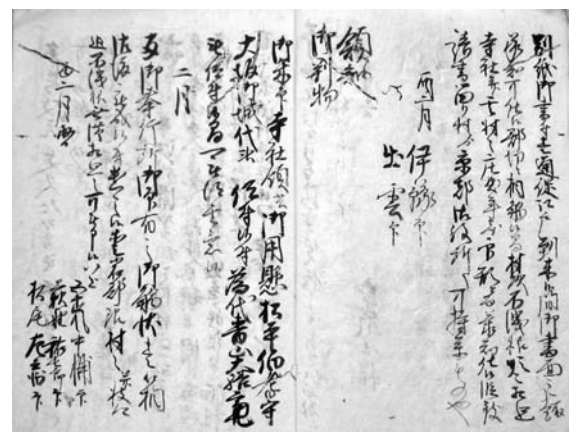
このルートによって回達される触は多くありませんが、他の触より周知徹底が求められています。

なお、なぜルートが2つもあったのか、確たる理由はまだ分かっていません。

（歴史資料課古文書担当 山田洋一）



▲写真②



▲写真③

特別展 京都歴史こぼれ話

—京都新聞連載コラム『雑学京都史』より—

会期 平成20年7月19日(土)～8月24日(日)
 (7月21日(祝)、8月13日(水)は休館)
 会場 京都府立総合資料館 2階展示室
 (入場無料)

■記念講演

7月31日(木) 午後2時～

「歴史よもやま話—洛北編—」

講師：小嶋一郎氏((財)京都古文化保存協会)

聴講無料 (定員先着120名)

■「みよう！さわろう！昔の京都」

7月24日(木)、8月21日(木)

午前10時30分～12時 (両日とも同内容)

対象：小学校高学年以上 (定員各先着40名)

総合資料館が所蔵する本物の歴史資料に触れて、昔の京都の出来事や人々のことを学びます。職員が楽しく解説します。展覧会「京都歴史こぼれ話」の見学もします。

※参加ご希望の方は、参加を希望する行事名、氏名、電話番号を明記し、はがき、FAX又はメールでお申し込みください。
 <満席で受講をお断りする場合があります>

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
 京都府立総合資料館 庶務課
 TEL 075-723-4831 FAX 075-791-9466
 メール shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp

■列品解説

7月23日(水) 午後2時～【事前申込不要】



京都府立総合資料館
 庶務課
 御城代
 御代
 御代

▲人のうわさ



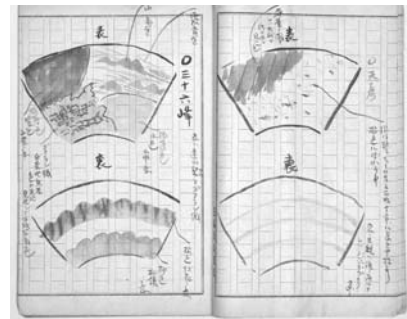
▲南大門前茶売人道覚等連署請文 (東寺百合文書)

京都は、古くからの都であるとともに日本を代表する都市でもあるため、日本の歴史の表舞台になることが多いのですが、知られているようで、意外に知られていない話もまた多くあります。このような話の数々を、当館が所蔵する国宝「東寺百合文書」をはじめとする資料により、平成19年3月から平成20年3月にかけて、京都新聞の連載コラム「雑学京都史」で紹介しました。

今回の展覧会では、この連載コラムで取り上げた、京都を舞台とした歴史のこぼれ話を、新聞に掲載した資料をはじめ、当館所蔵の関連資料により紹介します。

記念講演、列品解説に加え、学校の夏休みの時期と重なりますので、子供たち向けに「みよう！さわろう！昔の京都」も開催します。

みなさんで一緒に楽しんでいただければ幸いです。



▲九重扇 十二種

▼善行褒賞の簿冊



❖❖❖❖ **最近の収集資料から** (平成20年3月~平成20年5月) ❖❖❖❖

◆**図書資料**

〈京都〉

山間荘園の地頭と村落 丹波国和知荘を歩く
藤木久志編 岩田書院 2007 357p

『女工哀史』から80年 いま、和喜蔵の聲が聞こえる 細井和喜蔵を顕彰する会[編] あまのはしだて出版 2007 226p 寄贈

京文化と生活技術 食・職・農と博物館 印南敏秀著 慶友社 2007 13,484p (考古民俗叢書)

冷泉為理『安政度造営小御所障子新調記』-翻刻と解説- 冷泉為理[著] 文化遺産を核とした歴史都市の防災研究プロジェクト冷泉為理『安政度造営小御所殿障子新調記』-翻刻と解説-立命館大学歴史都市防災研究プロジェクト事務局 2008 197p 寄贈

京都の近代化遺産 歴史を語る産業遺産・近代建築物 川上貢監修 淡交社 2007 238p

花洛林泉帖 碓井小三郎編 芸艸堂 1910 1冊



京都駅物語 駅と鉄道130年のあゆみ 荒川清彦著 淡交社 2008 191p

東寺宝物の成立過程の研究 新見康子著 思文閣出版 2008 8,611,43p

薫る公家文化 近衛家の陽明文庫から 名和修監修 河部光男文 京都新聞出版センター 2008 125p

映画録音技師ひとすじに生きて 大映京都六十年 林土太郎著 草思社 2007 254p

保田與重郎の暮らし 京都・身余堂の四季 谷崎昭男ほか文 新学社 2007 127p

〈人文〉

世界大百科事典 改訂新版 全34巻 平凡社 2007 34冊

日本中世仏教史料論 上川通夫著 吉川弘文館 2008 6,319,9p

法隆寺辞典・法隆寺年表 高田良信著 柳原出版 2007 2冊

影印高田古典 第2~4巻 顕智上人集(上・中・下) 真宗高田派教学院編 真宗高田派宗務院 1999~2002 3冊 寄贈

一橋徳川家文書 摘録考註百選 辻達也編 続群書類従完成会 2006 6,13,368p

永源寺町史 木地師編上下巻・永源寺編・通史編 永源寺町史編さん委員会編 東近江市 2001~2006 4冊 寄贈

都祁村史 上中下巻 都祁村史編纂委員会編刊 2005 3冊 寄贈

国立西洋美術館所蔵ヨーロッパ美術の精華 神々と自然のかたち 国立西洋美術館[編]刊 2007 119p 寄贈

黒田清輝著述集 黒田清輝[著] 東京文化財研究所美術部編 文化財研究所東京文化財研究所 2007 680p 寄贈

モディリアーニと妻ジャンヌの物語展 モディリアーニ[画] エピュテルヌ[画] 木島俊介監修 東京新聞 2007 204p 寄贈

イタリア・ルネサンスの版画 チューリヒ工科大学版画素描館の所蔵作品による 国立西洋美術館[編]刊 2007 277p 寄贈

新編元伯宗旦文書 不審庵伝来 千宗左監修 千宗員編 表千家不審庵文庫 2007 601p 寄贈

〈官庁〉

「ほっとけない」が地球を変える 京都府府民協働事例集 京都府府民参画推進プロジェクト[編]刊 2008 60p

京都府統計書 平成18年 京都府総務部統計課
編刊 2008 394p

町内会の財務 京都市総務部町務課編刊 1942
28p (町内会叢書 第3輯)

京都市の男女共同参画の現状と施策 ひとが輝
き, 未来へのゆめを彩るまち・京都をめざして
京都市文化市民局共同参画社会推進部男女共同
参画推進課[編]刊 2008 65p 寄贈

八幡市都市計画マスタープラン 都市計画に関
する基本的な方針 八幡市都市整備部計画・公
園課[編]刊 2008 218p 寄贈

舞鶴の守りたい自然 自然環境データブック
舞鶴市・データブック作成スタッフ企画・編集
舞鶴市市民環境部環境対策室生活環境課 2008
134p 寄贈

超少子化と家族・社会の変容 国立社会保障・
人口問題研究所編刊 2008 172p (厚生政
策セミナー報告書 第12回) 寄贈

団塊世代の退職の雇用への影響 内閣府経済
社会総合研究所編 国立印刷局 2007 152p
(企業行動に関するアンケート調査報告書 平
成19年)

社会生活基本調査報告 平成18年第1巻～第6
巻 総務省統計局編刊 2008 6冊 寄贈

ニートの状態にある若年者の実態及び支援策に
関する調査研究報告書 社会生産性本部編刊
2007 190p 寄贈

「平成19年ホームレスの実態に関する全国調査
(生活実態調査)」の分析 ホームレスの実態に
関する全国調査検討会編刊 2007 207p 寄贈

生活習慣病と関連統計の年次推移 厚生統計協
会編刊 2007 120p

◆文書資料(新しく公開する資料)

廣瀬家文書 地下官人で朝廷の内舎人及び一条
家の家司を務めた廣瀬家に伝来した資料。江戸
下向日記、家伝ほか。30点。マイクロ収集。

◆行政文書(新しく公開する資料)

四百年以前社寺建物取調書

1点(社寺建物取調書1)。

議事堂建築ノ図 1点(議事堂建築ノ図1)。

社寺敷地図 31点(社寺敷地図1～31)。

※ No155(2008年4月1日発行)の5頁の表中、現
市町村の左下部に誤記がありました。

(誤)左京区 →(正)北区

本年度も古文書解読講座を予定しています

本年度も「古文書解読講座」の開催に向けて準備を進めています。

その概要は、次のとおりですが、講師や講義内容、申込方法等の詳細は、後日、ポスター、チラシ、
ホームページ、府民だより及びメールマガジン等でお知らせしますので、ご覧のうえ、ご応募ください。

第7回古文書解読日程

講座名	初心者Aコース	初心者Bコース	一般Cコース	一般Dコース
対象者	初心者		ある程度古文書が読める方	
月日	20年11月4日～7日	20年11月4日、11日 13日、14日	20年11月18日～21日	20年11月25日～28日
定員	30名	30名	80名	80名
内容	講演、古文書の初歩的解読(講義・実習)		中世文書・近世文書・近代文書解読	

*いずれも午後1時30分～4時(受付1時～)、総合資料館2階会議室にて

*受講料無料(但し、テキスト代2,000円と送料が必要)

◎受付期間 平成20年9月1日(月)～18日(木) (往復はがきで申込、応募多数の場合は抽選)

第23回東寺百合文書展 〈予告〉 「南北朝期の群像（仮題）」

会期 平成20年 9月27日(土)～10月26日(日)
(10月8日(水)、13日(祝)は休館)
会場 京都府立総合資料館 2階展示室
(入場無料)

友の会事務局から

◎ 平成20年度の友の会会員は、5月31日現在で309人です。

性別	継続	新規	計
男性	157人(50.8%)	23人(7.4%)	180人(58.3%)
女性	113人(36.6%)	16人(5.2%)	129人(41.7%)
計	270人(87.4%)	39人(12.6%)	309人(100%)

◎ 平成20年度の役員会を、4月30日(水)に開催しました。この役員会で、平成20年度の事業計画が、次のとおり決定されました。

- ・現地講座（春期）
- ・見学会（秋期）
- ・総合資料館府民講座（総合資料館と共催）
- ・「東寺百合文書展」及び企画展の列品解説
- ・古文書解説講座の案内及びテキスト送料の補助
- ・「総合資料館だより」の頒布（年4回）
- ・京都文化博物館及び池大雅美術館の入館料割引

◎ 5月8日(木)、127名の会員の皆さんの参加を得て、京都文化博物館（京都市中京区）において現地講座を実施しました。

別館ホールで京都文化博物館の学芸員さんからお話をいただいた後、本館に移動して「源氏物語千年紀展」を自由に観覧しました。

展覧会場は混み合っており、なかなか近づけない展示物もありました。夏を思わせる陽気の中、源氏物語の人気の高さを感じる一日でした。



◎ 随時入会の申込みを受け付けています。
問合せ先：友の会事務局
(当館庶務課内 TEL 075-723-4831)

古文書相談のご案内

○古文書の内容や解説についての相談
郵送による事前申込。申込方法の詳細については、次へお問い合わせください。
問合せ先：当館歴史資料課 TEL 075-723-4834

日誌（平成20年3月～5月）

- 3.15(土)～4.13(日) 企画展「地域をむすぶー京都府の交通史ー」
- 3.18(火) 府民講座(第48回)
- 3.25(火) 府民講座(第49回)
- 4.3(木) 府民講座(第50回)
- 5.8(木) 友の会現地講座（京都文化博物館）
- 5.10(土)～5.25(日) 「古典グルメ・書物グルメのための名品展」
- 5.18(日) 古典グルメ・書物グルメのディスカッション
- 5.28(水)～6.13(金) 所蔵資料点検・整理等のため臨時休館

利用案内

休館日 祝日法に規定する休日、
毎月第2水曜日、資料整理期、
年末年始（12月28日～1月4日）

【7月～9月の休館日】

7月9日(水)、7月21日(祝)、8月13日(水)
9月10日(水)、9月15日(祝)、9月23日(祝)

開館時間 午前9時～午後4時30分

交通 京都市地下鉄烏丸線・北山駅下車
市バス④ ⑧ 北山駅前下車
京都バス④⑤ ④⑥ 前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

*総合資料館メールマガジンにご登録ください

発行 京都府立総合資料館
京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991)

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1の4
TEL (075)723-4831 FAX (075)791-9466

○本誌に関するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。